

# ふれあい新聞

(34号) 平成7年4月1日 (田中野田町内会)

## 新年度を迎えて

町内会長 和氣 加太志

いよいよ平成7年度を迎えることになりました。私共町内会役員は本年度も引き続きお世話をさせて頂くこととなりますので、今までにも増してご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

1年前の平成6年4月の町内会総会において、次の2つの重要課題を提示しました。

① プレハブの公会堂が老朽化し使用に耐えなくなっているため、本年度中に何とかめどをつけたい。

② 町内会を法人化の方向で進める。

①につきましては、皆様の物心からの絶大且つ温かいご協力を得まして、何とか完成することができました。特に公会堂の建設費の寄付につきましては、予想を遥かに越える金額を頂くことができたばかりでなく殆ど全戸からのご協力を頂くことができました。

②の法人化の問題は、昨年度から準備を進めてきておりますので、本年度は是非とも実現したいと考えております。

法人化のためには、会員の過半数の同意が必要であります。その同意を得るためには総会を持たなければなりません。しかし定期総会を間近に控えておりますので、総会を2度持つ所を1度で済ませて頂きたいと考えております。内容が張りますがご協力の程宜しくお願い致します。皆様の承認が得られれば法人化に踏み切ることが出来ます。

次に田中野田のお祖様のことでありますが、新公会堂の東端に移転致しました。これからは町内全体でおまつりしたいと思います。遠く江戸時代の頃から町内を見守って下さったお祖様を大切におまつりしていくことが、今を生きる私共の願いであります。最終的に平成7年度の定期総会で町内でおまつりするかどうかについて決定したいと思いますので、良識ある決断を下して頂きたいと思っております。

町内の運動会につきましては、今まで町内会の会費で実施してまいりましたが、町内会の会計が赤字で運動会の資金を出すだけの余裕がありませんでしたので、今回はやむなく延期になっていたわけでありました。

一昨年より夏まつりも運動会も皆様からの芳志によって賄うことに致しており、現在そのお金が約40万円程ありますので、本年4月29日に公会堂落成記念の運動会を実施することにしております。盛大な運動

会になりますようご参加の程宜しくお願い致します。

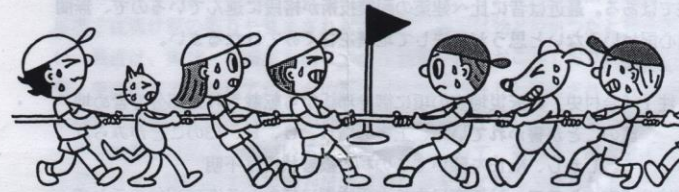
お待たせしました

## 大運動会

田中野田

期日 4月29日(土)雨天30日

場所 田中野田グランド(辰巴西公園)



## 子ども会だより

田中野田子ども会育成会会長

中尾 信夫

このたび、図らずも育成会会長という大任をお任せ付かり、その責務の重大性に改めてところを引き締めている次第です。毎年のことながら町内の皆様方には、多種多様な子ども会育成会の行事の中でご配慮を頂きありがとうございます。

平成7年度の子ども会並びに育成会の役員が決まりましたのでお知らせします。今後とも子ども会育成会をご理解頂き、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

### 【子ども会役員】

会長	安藤 優祐		
副会長	高橋 有也	原 佳美	荻野 有字子
運営委員	香山 翔	太田 美保	

### 【育成会役員】

会長	中尾 信夫	(田中441)	
副会長	香山 寛	和氣 芳夫	原 久昭
	相賀 望弘	高橋 健策	木村 俊彦
地区理事	安藤 勝江	(生活指導部)	荻野 広子 (交通部)
地区副理事	太田のぶえ	(生活指導部)	原 美鈴 (交通部)
会計	高橋 和子		
運営委員			

連絡協議会役員	高橋 健策	ソフトボール監督	原 久昭
連絡協議会事務局	香山 和代	ポートボール監督	香山 寛
交通安全母の会	板崎 町子		

## ホトトギスの鳴かせ方

武山 晃三

誰が言い出したのか戦国時代の英雄三人の性格をホトトギスの鳴かせ方によせ、第一は織田信長で「鳴かざれば殺してしまえホトトギス」これは全く残酷無情で話にならぬ。秀吉の「鳴かせてみよう」と家康の「鳴くまで待とう」であるが、権力支配者が鳴かせようとする程鳴きたくないのが人情だ。家康も待ちきれずに大阪夏・冬の陣で豊臣一家を滅殺してしまった。元来ホトトギスは血を吐いても鳴きたいのが本音である。そこで新しく一句が思い浮かんだ。「鳴きたくばこう鳴くのだよホトトギス」というのである。長唄・舞踊をはじめ芸事はすべて鳴き方伝承であり、習得である。観て聴いて楽しく自分もやってみたくなるから高い月謝を払って師匠の元に通う。茶道、華道みな祖師発明の伝授である。東洋道学、儒教の先師孔子はその弟子曾子に向かって『先王至徳要道あり』と教えたし、ブツダは舍利子に般若のさとり道の道を伝え、わが道元禪師は達磨西來の意を禅と受けとめ、シナから学び帰って日本の弟子たちを集め只管打坐をすすめ、その法灯を嫡 相承して行くことを遺言した。かくて茶の湯、坐禅の道は敗戦によっていささかも覆されず今日に生きている。

しかるに日本民族の誰一人反対するものなく、何千年伝えてきた道義のパターンは占領政策によってケチをつけられて捨てさられた。忠孝一本の道がそれである。以来中学生の飛びおり自殺、女房の蒸発、老人の孤独死といった前代未聞事の続出はみな忠孝一貫の家庭道義をくずし去った結果である。

だが立派な道義でも時代の垢がつき過ぎると旧来の陋習として批判される。それは道義自身よりも人の側に責任があるが、無理おしは駄目である。

そこを無為自然でゆくと「鳴かざれば鳴かんでもよいホトトギス」となる。この自由をのこしてやればホトトギスは必ず自分から鳴き始めることだろう。(了)

## みんなの公会堂

### 大切に使おう

- 1 公会堂の使用者は事前に備え付けの使用簿に必ず記入しておくこと。
- 2 使用後は必ず清掃をして帰ること。  
(空ビン・空缶・ごみは持ち帰ること)
- 3 責任者は戸締まり、消灯、清掃を必ず確認して帰ること。
- 4 使用者は、使用中は一切の責任をもち、異常があればすぐ町内会に連絡のこと。
- 5 自家用車の乗り入れは避けること。